



第2分団第2部の団員と第2分団長（左）

訓練の成果を披露

消防団が消火までの基本的な動作や規律などを競い合う第66回岐阜県消防操法大会が瑞穂市で行われました。8月6日に行われたこの大会には各市町から30の消防団が参加し、可児市からは6月の市操法大会で優勝した第2分団第2部（下恵土）が出場。

各市町の消防団や多くの関係者が見守る中、団員たちは日ごろの訓練の成果を発揮し、8位入賞の好成績を取めました。

全国大会優勝などの活躍を報告

ボート競技の全国大会、全日本中学選手権競漕大会で好成績を残した選手が8月8日に市役所を訪れ、市長に報告しました。訪れたのは男子シングルスカルで優勝した柘植充さん（蘇南中3年）と準決勝に出場した小島大輝さん（同3年）、女子シングルスカルで2位に入った安藤凜々さん（中部中2年）の3人。決勝で2位と0.55秒差の接戦を制した柘植さんは「全力を振り絞って優勝することができた」と大会を振り返りました。



（左から）柘植さん、小島さん、安藤さん



盆踊りを楽しむ子どもたち

輪になって盆踊り

可児夏まつりが8月12日、13日の2日にわたって開催されました。天候にも恵まれ、音楽に合わせた花火やチャンバラ合戦など多くのイベントが行われました。

盆踊りは浴衣を着た子どもたちや異国の文化を楽しむ外国籍の人などで大盛況。その輪には自然とたくさん笑顔が集まり、ダンシング・ヒーローの曲がかかるとその熱気は最高潮に達しました。子どもたちにとっても夏休みの思い出になったことでしょう。

美濃金山城下に多くのにぎわい

美濃金山城下を竹あかりで照らす「美濃金山城下ぶらり歩き」が8月19日に開催されました。この企画は地域で組織する実行委員会や市民ボランティアなどが協力し、今年初めて行ったものです。

城の米蔵跡に残る石垣をはじめ、兼山歴史民俗資料館など町並みに約400点の竹あかりを設置。多くの家族連れらが照らされた町並みを散策したり、さまざまなイベントを楽しみました。



多くの人でにぎわうイベント会場

音楽だけじゃない！ 今年は夏に開催

8月6日に文化創造センター・アールで音楽の祭典Rock Fill Jam in ala 2017が開かれました。

今年で5回目となるRock Fill Jamの夏の開催は今回が初めて。音楽フェスの気分を味わおうと市内外から多くの人を訪れました。

会場となった3つのロフトは参加アーティスト18組の演奏と観客の熱気であふれ、迫力のある空間に大変身。普段のアールとはまた違った雰囲気になりました。

また音楽フェスといえば食事も気になるころですが、マルシェにはグルメやハンドメイド雑貨が並び、楽器体験ブース、まちおこし映画など催し物が数多く用意されました。訪れた人たちは思い思いにイベントを楽しみ、夏の思い出をつくっていました。



ステージで演奏するバンド



マルシェに並ぶハンドメイド雑貨



模擬通貨で買い物を楽しむ児童たち

いくら使ったんだっけ？

8月2日に下恵土公民館で、子どものためのマネー教室を開催しました。東濃信用金庫の職員を講師に迎え、子どもたちを対象に毎年開かれています。

子どもたちは1億円の重さ体験や模擬通貨によるお買い物体験などを行い、買い物後には何にいくら使ったのかをお小遣い帳を付けて確認しました。子どもたちも「これからはお小遣い帳を付けて、頑張ってお金を貯蓄する」と話し、お金の大切さを考える1日となりました。

地震が起きたら？！

8月6日に広見公民館ゆとりピアで防災訓練が行われました。子どもたちが自分の身を自分で守れるようにと、広見小学校PTAが企画したものです。

荒れた室内から脱出を試みる体験をはじめ、さまざまな体験が用意され、ガラスに見立てた卵の殻の上を裸足で歩いた子どもたちからは叫び声が上がりました。子どもたちはこれがガラスだったらと想像し、地震の怖さや備えについて考えました。



卵の殻の上を歩く子どもたち